

広島大学教育学研究科社会認識教育学講座 大学院生(D/M) 研究業績一覧

学年	氏名	研究テーマ
D3	金 鍾成	国際理解教育(特に、日韓の相互理解教育)
	書籍/論文	学会発表
	<p>【書籍】(1) 김종성 (2017) 어린이회의 지역교육력, 일본교육학회 편 “일본의 지역교육력” 학지사. Kim J. (2017). Local Education Power of “Kodomo-kai”, In The Society of Korea and Japanese Education. Local Education Power in Japan (ed.). Seoul: Hakjisa, pp. 209-222.</p> <p>【論文】(1) 草原和博・大坂遊・金鍾成・稲垣和・岡田公一・河原光亮・斎藤弘樹・迫有香・竹内和也・辻幸大・守谷富士彦・山田薫・山口安司「社会科授号改善支援プログラムの開発と評価—教員養成・教員研修で活用できるオンライン教材とハンドブックの構成—」『学校教育実践学研究』, 第23巻, 2017年, pp.93-101. (2) 金鍾成「自己と他者の「真正な対話」に基づく日韓関係史教育—日韓の子どもを主体とし「より良い日清・日露戦争の教科書づくり」を事例に—」『社会科教育研究』第130号, 2017年, pp.1-12。(査読有) (3) 김종성, 차보은, 조현기 (2017) 사회과 수업연구공동체의 의미 탐색 - ‘수업의 흐름도’의 성찰방법론을 중심으로-, 사회과교육연구, 24(1), pp.31-43. Kim, J., Cha, B., &amp; Cho, H. (2017) Searching for the Meaning of a Lesson Study Community in Social Studies Education -Focus on the Methodology of the Lesson Map-, Research in Social Studies Education, 24(1), pp.31-43. (Refereed)</p>	<p>(1) 金鍾成「自己と他者の「真正な対話」に基づく日韓関係史教育」RIDLS講演会シリーズ(第15回), 広島大学, 2016年6月。</p> <p>(2) Kim, J. (2016, July) Teaching Historical Events That Related Korea and Japan Through the Communication Between “Others” and “Us”: The Project “Making a Better Textbook of Sino-Japanese War and Russo-Japanese War” by South Korean and Japanese Elementary School Students, Presentation to the 12th International CitizED Conference, Birmingham, UK. (Refereed)</p> <p>(3) Kim, J. (2016, December) Teaching Japanese-Korean History through “Authentic Communication”: The Project “Suggesting a Better Textbook and Its Acceptance”, Presentation to the 96th NCSS International Assembly, Washington D.C, USA. (Refereed)</p> <p>(4) Kim, J. (2017, March) Deconstructing Notions of Peace: Rethinking Hiroshima with the C3 Framework, Presentation to the CCSS 2017 conference, Sacramento, USA. (Refereed)</p> <p>(5) Kim, J. (2017, March) Finding and Bridging the Gap Between Korean and Japanese History Textbooks: A Case of Sino-Japanese War and Russo-Japanese</p>
学年	氏名	研究テーマ
D3	弘胤 佑	奈良・平安時代における災害と国家
	書籍/論文	学会発表
	<p>(1) 弘胤 佑 「よりよい未来へ向けて災害の歴史から考える」(小原友行編『アクティブラーニングを位置付けた中学校社会科の授業プラン』 明治図書 pp82~85 2016年)。査読無</p>	<p>(1) 弘胤 佑 「承和十一年ト筮を信ずべき朝議の検討」(2016年度広島史学研究学会大会 日本史部会報告 広島大学 2016年10月)。査読無</p>

学年	氏名	研究テーマ
D2	孟瑜	平安貴族社会と装束
	書籍/論文	学会発表
	平安貴族の勤仕の「場」と装束一着替えを中心にー（査読あり） 広島大学大学院教育研究科紀要 第二部(文化教育開発関連領域)第65号 2016(別刷)	
学年	氏名	研究テーマ
D2	鉦 悠介	歴史的意義(Historical Significance)に関する子どもの思考
	書籍/論文	学会発表
		(1) 鉦 悠介：市民性育成を目指した歴史教育論分析枠組みの再検討ー民主主義と学問規範を軸とする米国の研究者の論を手がかりとしてー「第26回日本公民教育学会全国研究大会（東京大会）」（平成27年6月13日、高千穂大学） (2) 桑原敏典、中原朋生、吉村功太郎、溝口和宏、渡部竜也、竹中伸夫、後藤賢次郎、清水里沙、鉦 悠介、大坂 遊：社会科教育学研究は「何に貢献」するのか？ー若手研究者によるパネルディスカッションー「全国社会科教育学会第64回全国研究大会」（平成27年10月10日～11日、広島大学） (3) 岸本康晃、岡島春恵、鉦 悠介、大西智也、桑原敏典：「真正の評価」論に基づく主権者教育プログラムの開発研究ー「どうする？スマートフォン」の実践を通してー「第27回社会系教科教育学会・第32回鳴門社会科教育学会」（平成28年2月20日～21日、鳴門教育大学） (4) 鉦 悠介：歴史的意義(Historical Significance)に関する子どもの認識枠組みーK・バートンの研究が示唆する我が国の歴史教育研究の課題ー「日本カリキュラム学会 第27回大会」（平成28年7月2日～3日、香川大学） (5) 鉦 悠介：子どものもつ「歴史的意義 (Historical Significance)」の判断基準に関する実証的研究ーランキング・タスクを用いた調査に基づいてー「日本社会科教育学会 第66回全国研究大会」（平成28年11月5日～6日、弘前大学）

学年	氏名	研究テーマ
D1	村田 翔	学校教育における防災教育改善に関する研究
	書籍/論文	学会発表
	(1)由井義通・村田翔・阪上弘彬, 2016イギリス初等地理テキストブックにおける環境地理学習の特質, 広島大学大学院教育学研究科紀要. 第二部, 文化教育開発関連領域 (65), 37-44(査読無) (2)阪上弘彬・村田翔・由井義通・杉谷真理子・佟亜斎娜・中村勇介・橋本訓典・今井貴秀・氏原秀・兒玉泰輔・茂松郁弥・竹下紘平・陶子・瀋意涵・山本稜・横川知司・吉川友則・劉思純, 2016, 小学校における地理的内容の展開とその特徴: イギリス初等地理テキストブックCollins Primary Geographyの分析から, 学校教育実践学研究, 22, 79-88(査読無) (3)村田翔, 2016, ESD の視点からみたドイツ・イギリスの初等・中等地理教科書の内容構成の変化に関する研究, 公益財団法人教科書研究センター センター通信, (108), 5 (査読無・平成27年度大学院生教科書研究助成金採択論文)	(1)村田翔・由井義通, 2016, イギリス初等地理教科書における環境地理学習の特質, 日本地理教育学会第66回大会, 一般発表
学年	氏名	研究テーマ
D1	粟谷 好子	教師教育者によるSelf-Studyを用いた教育実習の研究—中等社会科を中心に—
	書籍/論文	学会発表
	(1)粟谷好子, 2016, 明治憲法を通して立憲主義を考えよう, 小原友行編著『アクティブ・ラーニングを位置づけた中学校社会科の授業プラン』明治図書, 74-77, (査読無) (2)粟谷好子, 2016, 投票行動の基盤となる社会認識を形成する歴史授業内容開発—高等学校日本史・小単元「近代の普選実施」を事例として—, 社会系教科教育学研究, 28, 111-120, (査読有)	
学年	氏名	研究テーマ
M2	山本 稜	過去の人々の選択に焦点を当てた歴史教育
	書籍/論文	学会発表
	(1)小原友行・兒玉泰輔・茂松郁弥・山本稜・吉川友則, 2017. 3, NIE学習における「学習のための評価」法の開発—単元「より平和な世界に向けた『写真付き投書』を書こう」を通して—, 日本NIE学会誌第12号.(査読有) (2)小原友行・深澤清治・朝倉淳・松浦武人・松宮奈賀子・阿比留久美・兒玉泰輔・茂松郁弥・志摩愛里・平野優輝・山本稜・吉川友則・奥田麻衣子, 2017, 大学院生によるアメリカの小中学校での体験型海外教育実地研究報告X, 学校教育実践学研究第23巻, pp.103-116. (3)阪上弘彬・村田翔・由井義通・杉谷真理子・佟亜斎娜・中村勇介・橋本訓典・今井貴秀・氏原秀・兒玉泰輔・茂松郁弥・竹下紘平・陶子・瀋意涵・山本稜・横川知司・吉川友則・劉思純, 2016, 小学校における地理的内容の展開とその特徴—イギリス初等地理テキストブックCollins Primary Geographyの分析から—, 広島大学大学院教育学研究科紀要第二部第65号, pp.45-52.	(1)棚橋健治・兒玉泰輔・茂松郁弥・山本稜・吉川友則, 2016, 国際バカロレアDP日本語科目「歴史」の授業開発—世界史トピック「20世紀の独裁主義的国家」—, 第65回全国社会科教育学会 (2)小原友行・兒玉泰輔・茂松郁弥・山本稜・吉川友則, 2016, NIE学習における評価法の開発—「オバマ大統領広島訪問」の授業実践を通して—, 日本NIE学会 第13回愛媛大会

学年	氏名	研究テーマ
M2	今井 貴秀	水車動力の立地と変遷に関する地理学的研究
	書籍/論文	学会発表
	(1)阪上弘彬・村田翔・由井義通・杉谷真理子・佟亜斎娜・中村勇介・橋本訓典・今井貴秀、他10名、2016、小学校における地理的内容の展開とその特徴:イギリス初等地理テキストブックCollins Primary Geographyの分析から、広島大学大学院教育学研究科紀要第二部文化教育開発関連領域65,45-52(査読無)	(1)今井貴秀、2016、群馬県における工業用水車の立地とその特徴-大正期繊維産業を中心に-, 2016年度群馬地理学会研究発表会、口頭発表 (2)今井貴秀、2016、群馬県における工業用水車の立地展開、平成28年度地理科学学会春季学術大会、ポスター発表
学年	氏名	研究テーマ
M2	竹下 紘平	律令国家の隼人支配の特質と展開
	書籍/論文	学会発表
	(1)阪上弘彬・村田翔・由井義通・杉谷真理子・佟亜斎娜・中村勇介・橋本訓典・今井貴秀・氏原秀・兒玉泰輔・茂松郁弥・竹下紘平・陶子・瀋意涵・山本稜・横川知司・吉川友則・劉思純「小学校における地理的内容の展開とその特徴:イギリス初等地理テキストブックCollins Primary Geographyの分析から」(『広島大学大学院教育学研究科紀要. 第二部, 文化教育開発関連領域』第65号、2016年)	
学年	氏名	研究テーマ
M2	氏原 秀	平安貴族の人間関係-忌日供養を中心に-
	書籍/論文	学会発表
	(1)阪上弘彬・村田翔・由井義通・杉谷真理子・佟亜斎娜・中村勇介・橋本訓典・今井貴秀・氏原秀・兒玉泰輔・茂松郁弥・竹下紘平・陶子・瀋意涵・山本稜・横川知司・吉川友則・劉思純「小学校における地理的内容の展開とその特徴:イギリス初等地理テキストブックCollins Primary Geographyの分析から」(『広島大学大学院教育学研究科紀要. 第二部, 文化教育開発関連領域』第65号、2016年)	
学年	氏名	研究テーマ
M2	瀋 意涵	広島市内における中国料理店のネットワークに関する研究
	書籍/論文	学会発表
	(1)阪上弘彬・村田翔・由井義通・杉谷真理子・佟亜斎娜・中村勇介・橋本訓典・今井貴秀・氏原秀・兒玉泰輔・茂松郁弥・竹下紘平・陶子・瀋意涵・山本稜・横川知司・吉川友則・劉思純「小学校における地理的内容の展開とその特徴:イギリス初等地理テキストブックCollins Primary Geographyの分析から」(『広島大学大学院教育学研究科紀要. 第二部, 文化教育開発関連領域』第65号、2016年)	

学年	氏名	研究テーマ
M1	吉川 友則	論争問題教育(特に英国におけるシティズンシップ教育との関係)
	書籍/論文	学会発表
	(1)小原友行・兒玉泰輔・茂松郁弥・山本稜・吉川友則, 2017, 3, NIE学習における「学習のための評価」法の開発—単元「より平和な世界に向けた『写真付き投書』を書こう」を通して—, 日本NIE学会誌第12号.(査読有)	(1)棚橋健治・兒玉泰輔・茂松郁弥・山本稜・吉川友則, 2016, 国際バカロレアDP日本語科目「歴史」の授業開発—世界史トピック「20世紀の独裁主義的国家」—, 第65回全国社会科教育学会
	(2)小原友行・深澤清治・朝倉淳・松浦武人・松宮奈賀子・阿比留久美・兒玉泰輔・茂松郁弥・志摩愛里・平野優輝・山本稜・吉川友則・奥田麻衣子, 2017, 大学院生によるアメリカの小中学校での体験型海外教育実地研究報告X, 学校教育実践学研究第23巻, pp.103-116.	
(3)阪上弘彬・村田翔・由井義通・杉谷真理子・佟亜斎娜・中村勇介・橋本訓典・今井貴秀・氏原秀・兒玉泰輔・茂松郁弥・竹下紘平・陶子・潘意涵・山本稜・横川知司・吉川友則・劉思純, 2016, 小学校における地理的内容の展開とその特徴—イギリス初等地理テキストブックCollins Primary Geographyの分析から—, 広島大学大学院教育学研究科紀要第二部第65号, pp.45-52.	(2)小原友行・兒玉泰輔・茂松郁弥・山本稜・吉川友則, 2016, NIE学習における評価法の開発—「オバマ大統領広島訪問」の授業実践を通して—, 日本NIE学会第13回愛媛大会	
学年	氏名	研究テーマ
M1	近藤 秀樹	民主主義を捉えなおす中学校社会科単元開発
	書籍/論文	学会発表
学年	氏名	研究テーマ
M1	安倍 成美	美術作品を用いた英国初等地理教育の取組み
	書籍/論文	学会発表
学年	氏名	研究テーマ
M1	倉本 尚	観光満足度調査からみる酒蔵ツーリズムの課題と可能性—東広島市西条酒蔵通りを事例に—
	書籍/論文	学会発表
学年	氏名	研究テーマ
M1	城戸 ナツミ	学習者の自己調整を保障する社会科学学習評価研究—パフォーマンス評価時の認知構造の解明—
	書籍/論文	学会発表

学年	氏名	研究テーマ
M1	高 錦婷	中国の大学の日本語科において「日本歴史」をどのように教えられているのか-中国A大学とB大学の事例を通して-
	書籍/論文	学会発表
学年	氏名	研究テーマ
M1	尾藤 郁哉	政治的主体を育成する歴史教育-オーストリアの教科「歴史と社会科/政治教育」を事例に-
	書籍/論文	学会発表
学年	氏名	研究テーマ
M1	山口 裕平	中小規模離島における移住者の動向-長崎県小値賀町を事例に-
	書籍/論文	学会発表
学年	氏名	研究テーマ
M1	山口 安司	高校歴史教師の授業構成についての調査研究 -網羅と統制の社会科を越えて-
	書籍/論文	学会発表
M1	草原和博・大坂遊・金鍾成・稲垣和・岡田公一・河原洸亮・斉藤弘樹・迫有香・竹内和也・辻幸大・守谷富士彦・山田薫・山口安司(2017)「社会科授業改善支援プログラムの開発と評価-教員養成・教員研修で活用できるオンライン教材とハンドブック教材の構成-」『学校教育実践学研究』第23巻, 93-101	